

# 高さ4m 延長10kmの築堤により**浸水被害を免れた土浦市民約1.8万人**



昭和61年8月の台風10号では、県内各地で大きな被害を受けました。例えば、大北川が流れる北茨城市街地では約2,000人が、五行川が流れる筑西市街地では約4,800人が被災しました。

一方、土浦市内を流れる桜川については、両岸の堤防が完成していたので、市街地の人口約18,000人が被災を免れました。

昭和13年6月の大水害を契機に翌年から桜川の河川改修に着手しました。



土浦市街地の桜川断面図

